

市民意見募集（パブリックコメント）結果

■募集案件の概要

募集案件	「和歌山市事前復興計画（案）」
受付期間	令和5年8月21日～令和5年9月19日
ご意見の件数	3名・8件

■ご意見の概要と市の考え方

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	計画を策定した後も地元へ来て、計画の説明を行ったり、地元の相談に乗ってほしい。	計画に関する理解を深めていただき、ご意見をお伺いする機会として、地域の特性を踏まえた出前講座やワークショップの実施などに取り組んでまいります。
2	高齢化がいつそう進んでいくので福祉に優しく、かつ若年層の雇用にもつながるよう、行政がしっかり考えていかなければいけないのでは。	高齢者にとっての暮らしやすさや雇用については、復興にあたって重要なことのひとつとして、計画案にも記載しているところです。今後も、関係部局と連携してしっかりと検討を進めてまいります。
3	学生の意見から見えたものとして「公共交通機関をはじめとする交通網を整備する」という意見があるが、交通網の整備として観光物ともなる観光都市型の交通機関として電気で運行するLRTの導入について検討しては如何か。	宇都宮市や富山市においてはLRTの導入実例があり、利便性の向上や観光面での効果において、今後の動向が注目されています。LRTの研究を含め、新たな交通システムについては、まちの魅力向上に寄与する交通網の整備の観点から、和歌山市地域公共交通網形成計画に位置付け、調査、検討しているところです。
4	災害廃棄物等の処理の事前準備内容として、防災訓練として災害廃棄物の分別訓練の実施が必要では。 災害発生時には、早急な復興を行うためには人命救助と同時に開始する必要があると考える。	災害時においてもごみの分別は必要となります。避難所や各地域において、適切な分別ができるよう、ごみを出す側も回収する側も、意識付けが必要であり、分別訓練の実施を含めた事前の備えについて、周知してまいります。
5	避難所の環境整備の事前準備として、災害関連死を減らすために災害リハビリテーション（J R A T）の活用方法の検討が必要では。	災害関連死の抑止のため、様々な機関・団体と連携することは非常に重要であり、リハビリテーションが必要な被災者・要配慮者が支援を受けられるよう、関係機関・団体との連携を検討してまいります。

6	<p>各種の申請等については、DXの推進としてどんどん電子化進めることは急いで進める必要がある。</p>	<p>行政におけるDXの推進については、ご指摘いただいたページに記載しているとおり、重要な事前準備事項と認識しています。平時から取組みを進めることで、災害時に大量の申請手続が混み合った際にも、円滑にサービスが実施できることにもなるため、オンライン化の推進を図ってまいります。</p>
7	<p>すべての人が尊重されるより豊かな人間社会の実現の事前準備として、社会的弱者へ暴力が向かわないような訓練や研修の検討が必要では。</p>	<p>社会的弱者の権利が擁護される社会づくりは最重要課題のひとつであるにもかかわらず、過去の大規模災害では、社会的弱者への人権侵害が起っています。これらを未然に防ぐため、訓練や研修の実施を含め、災害時においても社会的弱者の立場に立って行動できる意識形成のための取組みを検討してまいります。</p>
8	<p>震災経験の次世代への伝承の事前準備内容として、被災した地域への支援と子供若者との交流事業についての検討が必要では。交流することで震災経験の次世代への伝承につながる。</p>	<p>被災地への支援活動を通じて災害の実情を体験することで、震災の継承や復興の担い手が育っていく効果が期待でき、特に子供や若者など将来を担う世代で、交流の機会を設けることはたいへん有意義であるため、検討してまいります。</p>